

深圳深芝精密部件有限公司 サイトレポート情報

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 所在地 | : 中国広東省深圳市宝安区沙井新橋新発工業区第二位4号A棟 |
| 敷地面積 | : 5,000㎡(建屋面積:4,460㎡、緑化率:6.9%) |
| 従業員 | : 106人(2015年7月現在) |
| 主要製品 | : エネルギーデバイス部品 |
| ISO14001認証取得日 | : 2012年9月4日 |
| 最新更新年月 | : 2015年8月28日 (ISO認証番号:E4757) |
| 有効期限 | : 2018年8月28日 |



ごあいさつ

深圳深芝精密部件有限公司は、「世界の先端産業都市」を持つ中国広東省深圳市に所在し、主に携帯電話用の蓄電池構造部品及びその周辺部品を製造し、日本、韓国、中国の取引先へ販売しています。また、環境保全活動に従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 佐久間久 総経理

2015年度の環境の主な取組み

1. 環境マネジメント

- (1)ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・2015年8月認証更新
- (2)環境保全体制の充実
- (3)法令、条例制定の順守

2. 事業活動における環境への取組みの改善

- (1)地球温暖化防止
 - ・エネルギー起源CO₂総排出量生産高原単位 目標300t-CO₂/億円(前年2%削減) 実績330t-CO₂/億円(目標未達)
 - ・物流CO₂総排出量生産高原単位 海外は非対象
- (2)資源有効活用
 - ・廃棄物総発生量生産高原単位 目標104t/億円(前年2%削減) 実績75.5t/億円(27%削減)
 - ・最終処分率 目標0.5%未満 実績0.89%(目標未達)
 - ・水受入量生産高原単位 目標7.72千m³/億円(前年2%削減) 実績8.14千m³/億円(目標未達)
- (3)化学物質管理
 - ・化学物質取扱量生産高原単位 取扱いなし

3. 環境コミュニケーション

- (1)全員参加・啓発活動の展開
 - ・環境月間による環境啓発活動
- (2)地域とのコミュニケーション
 - ・生物多様性の取組み(絶滅危惧種、希少植物の保護、育成)
 - ・構外清掃活動

深圳深芝精密部件有限公司で製造する環境調和型製品の紹介



蓄電池構造部品・周辺部品

当社の主力製品は、蓄電池構造部品・周辺部品であり、携帯電話機、ノートパソコン、携帯音楽プレーヤーなどの部品として使用されています。蓄電池部品は製品の世代交代が非常に早く、新製品開発の納期も短いことが特徴です。当社が持つ深絞りプレス加工技術で顧客の要求にタイムリーに対応しています。

深圳深芝精密部件有限公司 環境方針

深圳深芝精密部件有限公司は、「世界先端産業都市」の称号を持つ広東省深セン市で、二次電池部品、照明器具及び電子精密部品の生産・販売を行っています。

当社は、「かけがえのない地球環境」を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識にたち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。

- 1.環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- 2.事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境目的及び目標を設定して環境活動を推進します。
- 3.ISO 14001規格に適合した環境マネジメントシステムを構築し、監査の実施や活動のレビューにより、環境経営の継続的な改善を図ります。
- 4.環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- 5.地球温暖化防止、資源有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、販売、廃棄など全ての事業プロセスで環境負荷低減を図ります。
- 6.当社はエネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電気、天然ガス等の使用量を削減し、CO2排出量の抑制をします。
当社は、水質・騒音などに関わる施設の管理の徹底と設備改善を行い、環境に与える影響を最小にすると共に、事故等の予防措置に努めます。
当社は、循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
- 7.優れた環境技術や製品の開発と提供、及び地域・社会との協調連携により、環境活動を通じて社会へ貢献します。
- 8.従業員の環境意識をより高め、全員で取組ます。またグローバル企業として、東芝グループと一体となった環境活動を推進します。

深圳深芝精密部件有限公司
SHENZHEN SHENZHI PRECISION PARTS CO.,LTD.
総経理 佐久間 久

作成日 :2016年4月1日 有効期間は :2017年4月1日

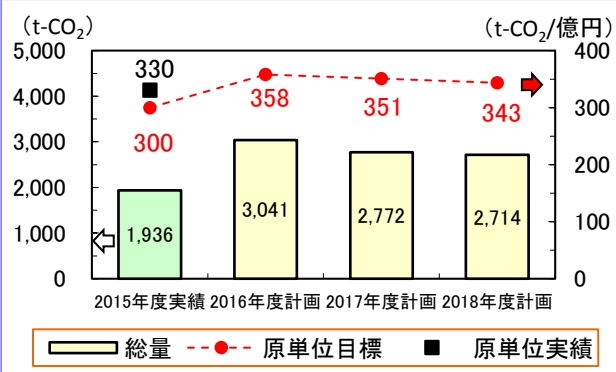


事業活動における環境への取組みの目的・目標

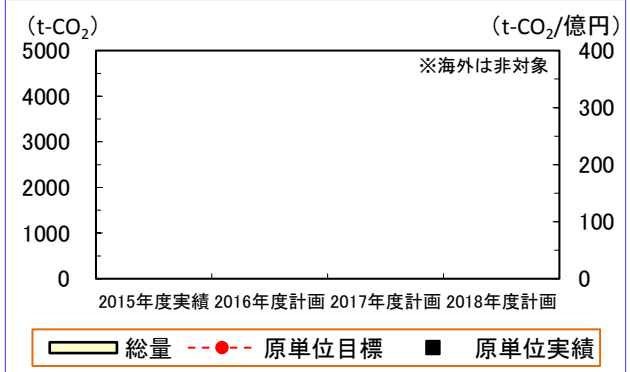
| 取組み項目 | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|---------|---|--------|--------|--------|
| 地球温暖化防止 | エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円) | 358 | 351 | 343 |
| | 物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円) | — | — | — |
| 資源有効活用 | 廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円) | 84.2 | 82.5 | 80.8 |
| | 最終処分率の管理(%) | 0.50 | 0.50 | 0.50 |
| | 水受入量原単位の改善(千m ³ /億円) | 8.89 | 8.71 | 8.53 |
| 化学物質管理 | 化学物質取扱量原単位の改善(t/億円) | — | — | — |

環境負荷データ

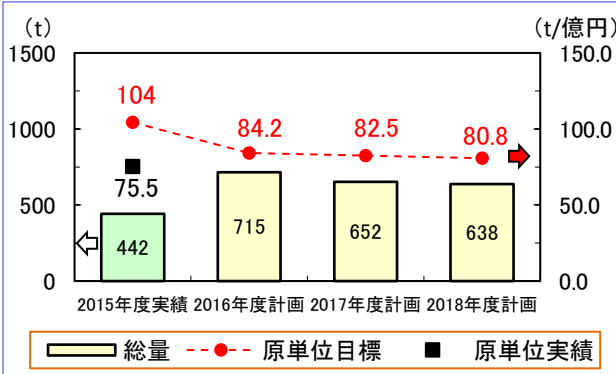
エネ起源CO₂



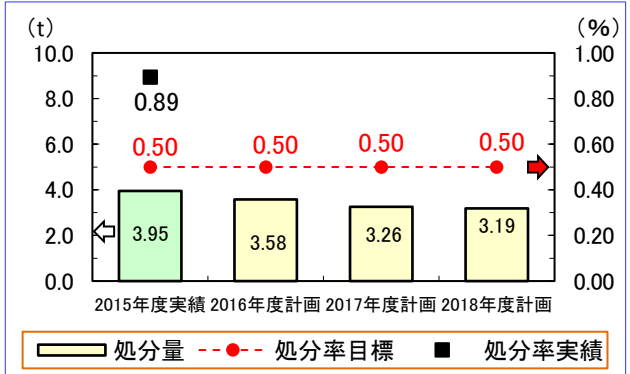
物流CO₂



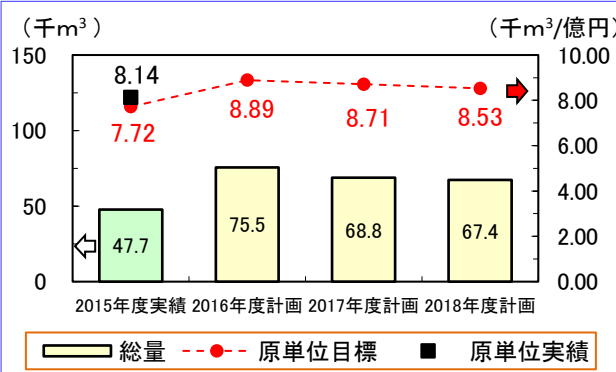
廃棄物総発生量



最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



環境コミュニケーションの紹介

<残飯なしの活動>

食堂を利用する従業員を対象に、「残飯なしの活動」を提唱しました。

この活動は、廃棄物を出さないという意識づけの一環として、食堂を利用する各個人が、ご飯、おかずの量を食べる分だけにして残飯をなくすという取り組みです。

(実施概要)

- ・日時：2015年4月18日
- ・参加人数：40名



「残飯なしの活動」に関するポスター



食事の様子

<会社周辺の清掃活動>

環境月間に向けた事業所の取り組みとして、4月に会社周辺の清掃活動を実施しました。

今回の活動によって50kgの廃棄物を回収しました。これからも地域活動の一環として、定期的を実施していきます。

(実施概要)

- ・日時：2015年4月8日
- ・参加人数：20名



清掃活動の様子



集合写真

生物多様性の取組み

1. 指標種の選定

| 指標生物 | 指標生物の希少性 |
|--------|----------------|
| ハクモクレン | 中国広東省準絶滅危惧(NT) |



ハクモクレン

2. 構内での保護・育成活動

会社内で、準絶滅危惧であるハクモクレンの保護を図るため、2013年5月に構内で植樹を実施しました。2016年1月、ハクモクレンは202cmまで生長しました。



2016年1月 ハクモクレン生育の様子



2015年12月～2016年2月 開花前

この時期は肥料まき、土かき、水まきを週3回実施しました。



2016年3月 種子が突ったハクモクレン

日光を遮る木の葉を除去しました。気温も上昇したことで、種子の成熟が早くなりました。



2016年4月 開花

ハクモクレンが開花しました。